



新緑が美しい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

昨年11月30日の補欠選挙では初当選させていただき、ありがとうございます。皆様のおかげで議員になる事ができましたが、分からない事ばかりでした。とにかく「知る・聴く・話す」をモットーに、壁にぶつかりながら今日まで必死に走り続けて来たように思います。

先日、以前「心の教室」の相談員をしていた小学校の卒業生から久しぶりにメールをもらいました。「先生！議員になったんだ！ビックリ！！私は中学で頑張ってるよ。先生も頑張って！！応援してるよ」大変うれしかったです。私の方が勇気と元気をもらいました。そして、この子たちの笑顔が、ずっと輝いていられるように努力したいと強く思いました。その気持ちを胸に、3月議会において初めて一般質問をさせていただきましたので、概要を報告させていただきます。

業生から久しぶりにメールをもらいました。「先生！議員になったんだ！ビックリ！！私は中学で頑張ってるよ。先生も頑張って！！応援してるよ」大変うれしかったです。私の方が勇気と元気をもらいました。そして、この子たちの笑顔が、ずっと輝いていられるように努力したいと強く思いました。その気持ちを胸に、3月議会において初めて一般質問をさせていただきましたので、概要を報告させていただきます。

●一般質問の概要●

1：新生児のいる家庭すべてに「赤ちゃん訪問」を！！

桑名市では、新生児・乳幼児を対象に、育児相談・離乳食相談・すくすく教室・歯科保健教室などのほかに、生後4ヶ月までの新生児を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を行っています。

この「こんにちは赤ちゃん事業」は、すべての子どもが健康で健やかに成長するため、また、出産時の疲労や育児負担などで心身の変調をきたしたお母さん方をサポートするための重要な事業です。しかし、現実にはお母さんが保健センターに連絡をしなくてはならない煩わしさや、保健師の人手不足などから桑名市の訪問実施率は53%にとどまっています。

2：学校の各トイレに洋式便器設置を！！

現在、学校の4割程度が洋式トイレ化されています。「トイレに行く」ということは、生きていくうえでどうしても必要な権利です。各家庭で洋式化が普及している今、子どもたちの中には洋式便器でしか用を足せない子が増えてきています。また、肢体不自由な子、怪我をした子にとっても洋式トイレは必要不可欠です。現行では、年2校ずつが洋式トイレ化される予定です。完了するのは、平成35年！！これでは今困っている子を助けてあげることができません。

*「洋式トイレ化」とは、トイレ床をフラットにし、和式便器の一つを洋式便器に変えるという事

3：夏でも窓を開けられず、サウナ化するパソコンルームにエアコンを！！



パソコンは砂・ホコリを嫌うために、教室の窓を開ける事ができません。

その為、暑い夏パソコンルームはサウナ状態。子どもたちは授業に集中できません！

また、その状態ではパソコンの故障も心配です。(パソコンのリース料は一台、トータルで35万円)

子どもたちにも、パソコンにも快適な環境が不可欠です。

4：「いつ起きてもおかしくない」といわれている地震に備え、学校に防災頭巾を！！

「東南海地震」「南海地震」「東海地震」…どれも、いつ起きてもおかしくないと言われています。災害時に子どもを落下物やガラス片、炎から守る簡易防具として、防災頭巾があります。南関東や静岡の多くの小中学校では、標準装備され、お隣の愛知県でも10年ほど前から取り組んでいます。



.....以上のような質問に対し、右記のような答弁をいただきました。

「赤ちゃん訪問」

山本副市長
から回答

「全戸訪問を行い、支援が必要な家庭には適切なサービス提供を行うことが重要と考えている。今後は保健師・助産師などの専門職だけでなく、人材発掘や研修を行い、乳児がいる家庭すべてに訪問できる体制を検討する。」という前向きな答弁をいただきました。

倉田の
思い

山本副市長は、厚生労働省からお招きした、「子育て支援」のエキスパートです。是非とも全戸訪問を一日も早く実現していただくよう期待しています。今後も桑名市のために大いに活躍していただきたいと思います。



「トイレの洋式化とエアコン」

大橋教育長
から回答

「トイレ改修は本格的にしようと思うと、年1~2校しか出来ないのが緊急的な措置として、小規模改修という中で弾力的にとらえていく。」「22年に耐震工事が完了するので、それに抱き合わせてトイレ、空調などについても整備計画を整えていきたい。」

倉田の
思い

桑名市では、小学校の校庭を芝生化する事業が始まります。(本年度は城南小)芝生は設置に980万円、維持費に年間80万円かかります。子どもたちにとって必要性・優先順位は洋式トイレ・エアコンだと思います。予算の使い道は、子どもたちに何が必要かという事を充分考慮していただきたい！



「防災頭巾に関して」

岡本教育部長
から回答

「PTAや地域の方々の協力で、実際に防災頭巾を製作している小学校が市内に一部ある。教育委員会としては予算化してないが、防災頭巾は2次被害を避けるための手段の一つと捉えている。」

倉田の
思い

防災頭巾は頭部から肩にかけての広い部分を保護でき、普段は座布団として身近に置いておく事もできます。いざという時子どもが自分自身で身を守る、という点でも効果的で、今後も普及を訴えていこうと思ってます。



*一般質問の様子は、桑名市のホームページでご覧いただけます。



まだまだ勉強不足な私ですが、少しでも皆様のお役に立てるように、これからも努力してまいります。何か気が付かれることなどありましたら、気軽に声をかけてください。今後ともよろしくお願いたします。

倉田 明子 連絡先：桑名市松ノ木7-9-13
TEL・FAX：0594-32-2432